

自己実現 2019

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

【期末考査が終わりました】

71回生のみなさんにとって、最後の定期(期末)考査が終了しました。他校の生徒の中には、推薦入試等で既に合格通知をもらい、残された高校生活を卒業まで目的もなく何となく過ごす高校生もいます。また、目前に入試を控えている多くの受験生は、自己の中にある「弱気」や「甘え」が顔を出しがちになります。そのような状況の中で、道を外さずやるべきことがしっかりできたなら、それは「受験を通じて成長する」ことに繋がります。今のみなさんには「逃げ道」はありません。それを「残念ながら」ではなく「当たり前なのだ」と考え、正面から立ち向かい、乗り越えましょう。意識の低いしょうもない高校生は軽蔑しましょう。

【第5回実力考査・個人成績票の返却について】

第5回実力考査の個人成績票が返却されました。各回の実力考査にはそれぞれ意味があり、その時期ごとのみなさんの学力の到達度を測るとともに、みなさんの学力を引き上げるためのものでした。今回の実力考査は、国公立大学前期日程の約3か月前に実施したものであり、その結果です。何度も繰り返しますが勝負はこれからです。これ以降の3か月間にひとりひとりの状況は大きく変化し、同じ順位(成績)の人でも合否が分かれることが多々あります。また、逆転現象もあります。この結果は目安であって絶対的なものではなく、本当の意味での「実力」はまだ進化の途中であるということを肝に命じてください。

【A%・B%成績について】

3年生の実力考査は総合成績を「A%成績」・「B%成績」という数値で表示しています。第4回実力考査は、業者模試(ベネッセ・駿台記述模試)を利用して実施しましたが、第5回実力考査では、「A%成績」を算出するための各教科・科目の数値は、校内実力考査(第5回)とマーク模試(全統マーク模試)の平均値を用いています。一方、「B%成績」を算出するための各教科・科目の得点は、校内実力考査(第5回)のみを用いています。「A%成績」は5教科(文系：国・英・数・地歴公民・理科、理系：国・英・数・地歴 or 公民・理科2科目)、「B%成績」が3教科(文系：国・英・数、理系：英・数・理科2科目)という点は他の回と共通です。合否追跡調査に用いる総合成績は、第3～5回の各科目の平均値を算出し、その数値を「A%成績」・「B%成績」の算出式に代入しています。

【第5回実力考査教科・科目別講評】

〈国語〉

得点率は、普通科文系約40%、普通科理系約35%、総合理学科約41%であった。全体を通じて文章の読み取り・時間配分の点で向上が見られ、授業や家庭学習での演習の成果が現れている。ただし、現代文分野に比べて古典分野はまだまだ得点が低い。基本的な知識が正確な読解と的確な表現をもたらす。実践的な学習と並行して単語・文法・句法の総復習も怠りなく行ってほしい。現代語の知識(漢字・語の意味)についても同様である。

大問一(評論・平均点24.2/60)は、文章の構造が理解できたかどうかで、大きく差があった。論理展開が一定なので、やや抽象的な内容に慣れていたら、理解にそれほど苦労しなかったはず。そういう意味でも、やや抽象的な評論文を読み、自分なりに内容を理解する訓

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

練をこれからも続けていくことが必要である。文系理系ともに記述問題にきちんと取り組めていたことは評価できる。引き続き、読解のトレーニングを続けていこう。

大問二（小説・平均点 17.8/40）は、登場人物が少なく、時間や場所が固定された場面であっただけに、描写や発言を丁寧に読み取る必要があった。具体化する記述問題は比較的できていたが、一般化する記述問題はできていなかった。選択問題は、傍線部だけでなく、傍線部がどのような文脈の中にあるのかを確かめた上で選択肢の吟味を始めなければならない。

大問三（古文・平均点 18.0/60）は、今回も古典常識・古文単語・古典文法が理解できているかどうか点数の差になって表れた。テストや演習問題を解くばかりではなく、必ず復習して知識を確実なものにしていかなくてはならない。記述問題を諦めた人が少なからずいたのは残念であった。季節ごとに風流な遊びを求める古人の心を読み取ろうとしてほしい。

大問四（漢文・平均点 14.0/40）は、基本的知識を問う設問を意識的に出題したこともあって、7～8割の得点の人も多かったが、その分得点差がついた感がある。「盍」・「是以」の読み、「致」の意味など、知識の曖昧さで点数を落とす人が目立つ。再読文字「将」や「奈何」といった頻出の事項についてはよく出来ており、要は知識として定着するまで意識的に繰り返しているかだと考える。漢文は読解の中でも漢字や句法など知識の占める割合が高い。あらゆる機会を通じて、知識の拡充・定着につとめてほしい。

〈英語〉

筆記 平均点 83.8 点 / 200 点

リスニング 平均点 38.7 点 / 50 点 【リスニング】 38.7 点 / 50 点

9月の平均点 34.6 からは順調に伸びています。油断せず、すき間時間を見つけてはリスニング力のアップを目指し、平均 40 点を目指してください。より口語的な問題が出る可能性は非常に高いです。GRAMMARMASTER の会話の部分も引き続き音読しておきましょう。

【発音・アクセント】 7.7 点 / 20 点 (38.6%)

得点率はこの時期にしては低めです。発音・アクセントは最後の追い込みがかけられる分野です。まずは、今回間違えたもの、そして模試、過去問などを一気に復習する時間を必ずとってください。

【文法・語法】 16.3 点 / 40 点 (40.8%)

〈E〉の(4)を there is no ~ing と勘違いしている人が多数いました。今後はそういった細かな間違いを確認していきましょう。「逃走中」の at large は意外によくできていました。

【表現・英作文】 14.3 / 40 点 (35.7%)

〈A〉の整序問題は、日本語があるので並べ替えがしやすかったせいもあり正答率は 58.2% でした。また現在完了の受け身、関係副詞、否定語句を文頭に置くと倒置構文となることなど、基本的な文法項目を確認しましたが、それらの得点率も高かったです。これらの考え方を、英作文でも読解でも役立てて下さい。

〈B〉(1)では、文明 civilization が書けなかったり、「試行錯誤」も書けてません。「繁栄」prosperity も書けてません。しかし、大事なのは、「辞書も使えない、先生もいない試験場」で、例えば prosperity が思い出せない場合にどうするか、です。「繁栄を享受する」とはつまり、「豊かな生活ができていること」と考え出し、やや稚拙でも正しい英文を書くのです。「思い出すより考え出せ！」

(2) 基本的なスペルの再復習を！university、volunteer が書けないのは苦しいです。なお、

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現 2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

-eer とは「～する人」の意味ですから「志願者、有志」という意味です。

(3) 「～に依存して生活する」live on～や「～に限られる」be limited to～といった表現の前置詞がうまく使えていない人が多くいました。単語やフレーズを覚えるときは、例文を確認し、自分で「使える」状態にしましょう。

〈C〉自由英作文では、難しい内容を書く必要はないので、自分の表現できる範囲で、筋道の通ったものを書けることを目指しましょう。今回の問題は英語で指示を出しましたが、その指示を正確に読み取りそれに従って書くのは当たり前のことです。指示をきちんと読み取らなかったり、勝手に自分が思い込んだトピックで英語を書いている人も少なからずいました。もちろん内容点が減点であったり、0点となった人もいました。落ち着いて問題を読みましょう。

【長文】 45.5/ 100 点 (45.5%)

【1】異文化についての本から、信頼の種類について部分の出題です。分量は少し多かったです。トピックは一つで、認知的信頼と感情的信頼に対するアメリカ人と中国人の違いです。得点率は48.6%でしたが、問3、問4の日本語訳がもう少し丁寧な解答となつてほしかったです。もう一度自分で読み直して、わかりやすい日本語になっているかの確認を。

【2】10代の若者にとっての睡眠と脳の関係について書かれた内容を読み取る問題。選択肢に押さえておいてほしい単語や語句を入れていましたが、語彙力がかなりついており正答率が高かったです。

和訳問題も含め、全体的な内容理解もできており得点率は51.6%でした。

【3】普段は会話しなくてもお互いが何を考えているかわかっている32歳の夫婦が、100歳までは生きられる、と医者から言われて突然、その長さを痛感する場面です。「あと67年も一緒にいることを忘れたの？」とシルビーがカマをかけたとたん、すっかり忘れていたというダンが「68年だよ」と即座に訂正する場面は面白いと思います。

〈数学〉

今回の平均点は、文系63.5/200 理系73.9/200 (総合理学科104.4/200)。

すべて記述式の文系5題、理系6題をそれぞれ120分、150分という長い時間で1つ1つの問題をしっかりと考え抜いて解答をつくっていく形式。各設問の講評は、答案とともに配布した「解説・講評」に詳しく記述しているので、しっかりと見直しておくこと。

文系理系共に、今までの演習の成果を答案に反映出来始めている印象を受けた。これからは更に、取るべき(正解すべき)問題を確実に取りきる事が望まれる。3年になってからの、4回の校内模試で、入試に必要な内容をまんべんなく出題してきた。各自の第一志望校の出題内容を確認の上、必要な単元をもう一度解き直して欲しい。

文系 授業で活用しているメジアンの本レベルの問題がほとんどである。まだ記述式の解答としては不十分な解答が多く見受けられる。思考過程をいかに採点者に正確に伝えるかが重要であり、つねにそのことを意識して答案を作成すること。

理系 数学ⅠAⅡBの内容に関しては、学力が積み上がってきている印象を受けた。ただ、数Ⅲに関しては、まだ充分とはいえない。更に演習量を増やしていく必要がある。これからセンター演習が中心になっていくが、余裕のある者は、12月の間は1日1問で構わないので、数Ⅲも解いておこう。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

〈物理〉

平均点 25.7点 (普通科 22.9点 総合理学科 37.3点) 最高点 79点

最後の實力考査ということで作問には大きく2つのねらいを持った。一つ目は75分という実際の入試に近い時間設定で、全体を俯瞰して戦略を立てて臨むことができるか、二つ目は準備不足が目立った先の中間考査の範囲(交流、電子と光、原子物理)をどの程度克服できているかをみるというものである。

結果を見ると、現段階で2次を戦える實力のある人とそうでない人がはっきりと浮かび上がったと思う。

問題は全部で4問。いずれも標準程度の問題であった。1の力学の問題から始めた人が圧倒的に多かったと推測するが、この問題は取り組みやすく見えても見方と計算力が試される問題で、これにある程度見切りをつけて2以下の問題(熱力学、電磁気学、原子物理学)に取り組みのが戦略としては正しかったと思う。3の交流回路、4の水素疑似原子の問題は先の中間考査の範囲であるが、現段階においても復習が不十分であることが露呈した。特に4については残り時間が少なかったという面も大いにあったと思うが、他の問題と比べても得点率が著しく低かった(普通科 6.3%、総合理学科 8.8%)点が大いに気になった。原子物理分野からの出題も最近では増加している。すでに教科書を終えているのに、準備できていない分野を残して本番の入試に臨むことほど愚かなことはない。本番まではまだ時間がある。今回の結果を冷静に受け止めて残った時間で軌道修正できるよう期待したい。

〈化学〉 【理系、総理】

前回9月の講評に次回の11月は「記述形式のみ(易しい問題もあれば難しい問題もある)の出題とします。」と予告した通りの問題で出題しました。採点を終えて、例年に比べて教科書後半の「無機・有機・高分子」の範囲の、覚えておくべき重要な物質の名称・化学式・性質・製法・反応についての学習がおざなりになっている生徒が多いように感じられます。テキトウな覚え方では記述の問題では太刀打ちできません(センターでも点数を落とす原因になりますよ)。前半の理論分野の問題でもこのような物質の知識が必要になりますので、化学全範囲からの出題では総合的な学力が求められます。

再度言いますが、化学は積み重ねの科目です。間違い箇所の見直し学習や覚え直し学習をする努力を繰り返しながらコツコツ続けましょう。分からない項目は冬休みに入るまでに担当の先生にまとめて質問してスッキリしておきましょう(これ大切です)。

〈世界史〉

地図問題や資料問題が非常に弱い。前者は地名が出てきたら逐一チェックする癖をつけたい。今からでも遅くはない。基本的な地理感覚がないと、論述でも問われる地域間のつながりを問う問題にも対応できない。後者は必ずしも知識が問われるとは限らない。基本的な事項の年代は覚えておかないと正答できない問題もあるが、冷静にグラフ等を分析することが何よりも肝要である。地歴公民はこれから大きく伸びる。努力は裏切らない。

〈日本史〉

初めて教科書の全範囲より出題しました。センター問題に準じた正誤問題、私大問題に準じた一問一答問題、国公立大学二次問題に準じた簡単な論述問題等を出題しました。特に今回は難解な正誤問題や時代順に並び変える問題があり、また書き間違いをおこしやすい漢字も出題しました。その結果、平均点が過去の実力テストと比べて下がりました。漢字の間違

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

えは、もったいないので今一度教科書で確認してください。日本史は今からでも頑張りしだいでありかなり成績が上昇します。まずは、センター試験に向けて基礎・基本問題に取り組んでください。

〈地理〉 平均点 47.8 点

大問1 世界地図を中心とした自然地誌と時差の問題 必修事項です。

大問2 東ヨーロッパの地誌、各民族の基本的な内容はきっちり確認しておくこと。例えばバルト3国の違いやスラブ系民族の宗教全てが正教ではないことなど。

大問3 オセアニアの地誌、問1は経緯度の基本的な内容、確実に出来るように。問6はエネルギーに関する問題でなじみがなく、出来ていません。

大問4 日本国内の地誌 北海道の夕張、地形図の判読など、センターでは必ず出題される。気候の問題など日本各地のそれぞれの特徴を理解しておくこと。

大問5 私大の典型的な記述問題 文章から農作物と国名を同時に理解しなければならないので正確な知識が必要です。部分的には出来ていました。

大問6 ラテンアメリカの文化、民族の問題 メスチソ、ムラートは既習の用語で必修です。

- ・2年次に学習した基本的な内容、ケッペンの気候区分など、自信がないのなら再度復習を！
- ・これから新しいことをするのなら復習を！
- ・センター過去問をしっかり解く

[冬休み前中の教室利用について]

この時期は、3年生のみが特別な動きをすることが多くなるので、他学年への配慮をしつつトラブルのないよう学習活動(自習)を行ってください。

日時:12/10(月)～21(木) 特別授業期間(3年生のみ午前中授業) 時間帯 3限終了後～18:00
12/25(火), 26(水), 27(木) 時間帯 8:00～18:00 自習場所:進路資料室

【注意】①平日の下校時刻(17:00)までであっても、三者面談のためHR教室の利用はできません。

②特別編成授業中の午後は、1・2年生は授業、3年生は三者面談を行っています。廊下、食堂等で音(私語を含む)を一切出さないよう十分注意してください。

③土日祝日および12/28～1/4は登校しないでください。

[冬季三者面談について]

これから、冬季三者面談が始まります。実力考査等の成績も出揃い、出願に向けての突っ込んだ懇談を予定しています。主な話題としては、成績等の現状分析、「第一志望」に基づいた出願予定校の確認、「第一志望」へ出願するための現時点での課題の洗い出し、今後の学習計画等です。

面談で、こちらから志望変更を迫ることはありません。神戸高校は精一杯生徒の背中を押しします。有意義な懇談になるよう、家庭でも事前に保護者の方々としっかり話をしておいてください。

ただし、安易な志望変更は不幸な結果を招くだけでおすすしめません。

なお、センター試験後にも希望される方は面談をもつ予定です。

[保護者のみなさまへ]

12月1日(土)に開催しました学年保護者会(進路説明会)には多数ご来校いただき、ありがとうございました。いよいよ入試シーズンに突入します。受験生本人と保護者の方の「納得の出願」により、彼らが「自己実現」できることを祈念しております。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉 〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2019』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

